



# CHAPTER 66

## Call Home の設定

この章では、Catalyst 4500 シリーズ スイッチに Call Home 機能を設定する手順について説明します。  
この章は、次の内容で構成されています。

- 「Call Home について」 (P.66-2)
- 「Smart Call Home の取得」 (P.66-2)
- 「Call Home の設定」 (P.66-3)
- 「連絡先情報の設定」 (P.66-4)
- 「宛先プロファイルの設定」 (P.66-5)
- 「アラート グループへの登録」 (P.66-6)
- 「一般的な E メール オプションの設定」 (P.66-9)
- 「Call Home のイネーブル化」 (P.66-10)
- 「Call Home の通信のテスト」 (P.66-11)
- 「Smart Call Home の設定とイネーブル化」 (P.66-14)
- 「Call Home 設定情報の表示」 (P.66-14)
- 「Call Home のデフォルト設定」 (P.66-19)
- 「アラート グループの起動イベントとコマンド」 (P.66-19)
- 「メッセージの内容」 (P.66-22)



(注)

この章で使用するスイッチ コマンドの構文および使用方法の詳細については、次の URL で『Cisco Catalyst 4500 Series Switch Command Reference』と関連資料を参照してください。

<http://www.cisco.com/en/US/products//hw/switches/ps4324/index.html>

『Catalyst 4500 Series Switch Command Reference』に掲載されていないコマンドについては、より詳細な Cisco IOS ライブラリを参照してください。次の URL で『Cisco IOS Command Reference』と関連資料を参照してください。

<http://www.cisco.com/en/US/products/ps6350/index.html>

## Call Home について

Call Home を使用すると、E メールベースおよび Web ベースで重大なシステム イベントの通知を行います。ポケットベル サービス、通常の電子メール、または XML ベースの自動解析アプリケーションとの適切な互換性のために、さまざまなメッセージの形式が使用できます。この機能の一般的な利用方法には、ネットワーク サポート エンジニアのダイレクト ページング、ネットワーク オペレーション センターへの電子メール通知、サポート Web サイトへの XML 配信、Cisco Smart Call Home サービスを利用したシスコ Technical Assistance Center (TAC) の直接ケース生成などがあります。

Call Home 機能では、設定、診断、環境条件、コンポーネント、システム イベントについての情報を含むアラートメッセージを送信できます。

Call Home 機能では、*Call Home* 宛先プロファイルに従って複数の受信者にアラートを送信できます。宛先プロファイルには、メッセージ形式とコンテンツのカテゴリを設定できます。TAC ([callhome@cisco.com](mailto:callhome@cisco.com)) にアラートを送信する、あらかじめ定義された宛先プロファイルが用意されています。また、独自の宛先プロファイルを定義することもできます。

柔軟なメッセージ送信オプションと形式オプションにより、特定のサポート要件に簡単に統合できます。

Call Home 機能には、次の利点があります。

- 複数のメッセージ形式オプション
  - ショート テキスト：ポケットベルまたは印刷形式のレポートに最適。
  - プレーン テキスト：人間が読むのに適した形式に完全整形されたメッセージ情報。
  - XML：Extensible Markup Language (XML) および Adaptive Markup Language (AML) 文書型定義 (DTD) を使用した読み取り可能なマッチング形式。XML 形式では、Cisco TAC と通信できます。
- 同時メッセージの宛先を複数設定できます。
- 設定、診断、環境条件、コンポーネント、Syslog イベントを含む複数のメッセージ カテゴリ。
- 重大度とパターン マッチングによるメッセージのフィルタリング。
- 定期的なメッセージ送信のスケジューリング。

## Smart Call Home の取得

シスコと直接サービス契約を結んでいる場合は、Smart Call Home サービス用のデバイスを登録できます。Smart Call Home は、ご使用のデバイスから送信された Call Home メッセージを分析し、背景情報および推奨事項を提供して、システムの問題を迅速に解決します。既知と特定できる問題、特に GOLD 診断エラーについては、Cisco TAC によって自動サービス リクエストが生成されます。

Smart Call Home には、次の機能があります。

- シャーシ内のラインカードおよびスーパーバイザ エンジンに関する診断アラートの起動。
- 装置から送られる Call Home メッセージの分析、場合に応じて、自動サービス リクエスト生成と適切な TAC チームへの回覧。このリクエストには問題を迅速に解決するための詳細な診断情報が含まれています。
- お使いのデバイスから直接、またはダウンロード可能な転送ゲートウェイ (TG) 集約ポイントを介して転送されたメッセージのセキュリティ保護。複数のデバイスをサポートする必要がある場合や、セキュリティ要件によってデバイスがインターネットに直接接続されないことが必要とされる場合は、TG 集約ポイントを使用できます。

- あらゆる Call Home デバイスの Call Home メッセージおよび推奨事項、コンポーネント情報、設定情報への Web アクセス。関連する Field Notice (FN)、セキュリティ勧告、および End of Life (EOL; 廃止) 情報にアクセスできます。

次の項目を登録する必要があります。

- スイッチの SMARTnet 契約番号
- 電子メール アドレス
- Cisco.com ID

Smart Call Home の詳細については、次の URL にある Smart Call Home のページを参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps7334/serv\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps7334/serv_home.html)

## Call Home の設定

Call Home の設定方法は、機能の使用目的によって異なります。Call Home を設定する前に次の事項に注意してください。

- 少なくとも 1 つの宛先プロファイル（定義済みまたはユーザ定義）を設定する必要があります。使用する宛先プロファイルは、受信エンティティがポケットベル、電子メール、Cisco Smart Call Home のような自動サービスのいずれであるかによって異なります。
  - 宛先プロファイルが E メール メッセージ送信を使用している場合、シンプル メール転送プロトコル (SMTP) サーバを指定する必要があります。
  - 宛先プロファイルがセキュア HTTP (HTTPS) メッセージ転送を使用している場合は、トラストポイント認証局 (CA) を設定する必要があります。
- 受信者が受信したメッセージの発信源を特定できるように、連絡用 E メール、電話番号、住所の情報を設定する必要があります。
- スイッチは **ip domain name** コマンドを使用して電子メール サーバまたは宛先 HTTP サーバとの IP 接続が必要です。
- Cisco Smart Call Home を使用している場合、アクティブなサービス契約が設定するデバイスを対象としている必要があります。

Call Home を設定する手順は、次のとおりです。

- 
- ステップ 1** 設定場所の連絡先情報を設定します。
  - ステップ 2** 各受信者の宛先プロファイルを設定します。
  - ステップ 3** 各宛先プロファイルを 1 つまたは複数のアラート グループに登録し、アラート オプションを設定します。
  - ステップ 4** 転送方法に応じて (CA 証明書を含め) E メール設定または HTTPS 設定を行います。
  - ステップ 5** Call Home 機能をイネーブルにします。
  - ステップ 6** Call Home メッセージをテストします。
- 



### ヒント

Smart Call Home Web アプリケーションから、基本的な設定スクリプトをダウンロードして、Smart Call Home および Cisco TAC とともに使用するよう Call Home 機能を設定するために利用できます。このスクリプトは、Smart Call Home サービスとセキュアな通信を行うために、トラストポイント CA

を設定する際にも有用です。提供されるスクリプトに保証はありません。このスクリプトは次の URL からダウンロードできます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps7334/serv\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps7334/serv_home.html)

## 連絡先情報の設定

スイッチには必ず連絡用の E メール アドレスが必要です。任意で、電話番号、住所、契約 ID、カスタマー ID、サイト ID を割り当てることができます。

連絡先情報を割り当てするには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ1	Switch# <b>configure terminal</b>	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	Switch(config)# <b>call-home</b>	Call Home 設定サブモードに入ります。
ステップ3	Switch(cfg-call-home)# <b>contact-email-addr email-address</b>	カスタマーの E メール アドレスを割り当てます。E メール アドレス フォーマットにはスペースなしで最大 200 文字まで入力できます。
ステップ4	Switch(cfg-call-home)# <b>phone-number +phone-number</b>	(任意) カスタマーの電話番号を割り当てます。 <b>(注)</b> 番号はプラス (+) 記号で始まり、ダッシュ (-) と数字だけが含まれるようにしてください。最大 16 文字まで入力できます。スペースを入力する場合は、エントリを引用符 (") で囲む必要があります。
ステップ5	Switch(cfg-call-home)# <b>street-address street-address</b>	(任意) RMA 機器の配送先であるカスタマーの住所を割り当てます。最大 200 文字まで入力できます。スペースを入力する場合は、エントリを引用符 (") で囲む必要があります。
ステップ6	Switch(cfg-call-home)# <b>customer-id text</b>	(任意) カスタマー ID を指定します。最大 64 文字まで入力できます。スペースを入力する場合は、エントリを引用符 (") で囲む必要があります。
ステップ7	Switch(cfg-call-home)# <b>site-id text</b>	(任意) カスタマーのサイト ID を指定します。最大 200 文字まで入力できます。スペースを入力する場合は、エントリを引用符 (") で囲む必要があります。
ステップ8	Switch(cfg-call-home)# <b>contract-id text</b>	(任意) スイッチのカスタマーの契約 ID を指定します。最大 64 文字まで入力できます。スペースを入力する場合は、エントリを引用符 (") で囲む必要があります。

次に、連絡先情報を設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
```

```

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# call-home
Switch(cfg-call-home)# contact-email-addr username@example.com
Switch(cfg-call-home)# phone-number +1-800-555-4567
Switch(cfg-call-home)# street-address "1234 Picaboo Street, Any city, Any state, 12345"
Switch(cfg-call-home)# customer-id Customer1234
Switch(cfg-call-home)# site-id Site1ManhattanNY
Switch(cfg-call-home)# contract-id Company1234
Switch(cfg-call-home)# exit
Switch(config)#

```

## 宛先プロファイルの設定

宛先プロファイルには、アラート通知に必要な送信情報が含まれています。少なくとも 1 つの宛先プロファイルが必要です。1 つまたは複数のタイプの複数の宛先プロファイルを設定できます。

定義済みの宛先プロファイルを使用することも、目的のプロファイルを定義することもできます。新しい宛先プロファイルを定義する場合は、プロファイル名を割り当てる必要があります。



(注) Cisco Smart Call Home サービスを使用する場合、宛先プロファイルは XML メッセージ形式を使用する必要があります。

宛先プロファイルには、次の属性を設定できます。

- プロファイル名：ユーザ定義宛先プロファイルを一意に識別する文字列。プロファイル名は 31 文字までで大文字と小文字は区別されません。プロファイル名として **all** は使用できません。
- 転送方法：アラートを送信するための転送メカニズム（E メールまたは HTTP（HTTPS を含む））。
  - ユーザ定義の宛先プロファイルの場合、E メールがデフォルトで、どちらかまたは両方の転送メカニズムをイネーブルにできます。両方の方法をディセーブルにすると、E メールがイネーブルになります。
  - あらかじめ定義された Cisco TAC プロファイルの場合、いずれかの転送メカニズムをイネーブルにできますが、同時にはイネーブルにできません。
- 宛先アドレス：アラートを送信する転送方法に関連した実際のアドレス。
- メッセージ形式：アラートの送信に使用するメッセージ形式。
  - ユーザ定義の宛先プロファイルの場合、形式オプションは、ロングテキスト、ショートテキスト、または XML です。デフォルトは XML です。
  - 定義済みの Cisco TAC プロファイルの場合、XML しか使用できません。
- メッセージサイズ：宛先メッセージの最大サイズ。有効な範囲は、50 ~ 3,145,728 バイトで、デフォルトは 3,145,728 バイトです。

宛先プロファイルを作成して設定するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ 1	Switch# <b>configure terminal</b>	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	Switch(config)# <b>call-home</b>	Call Home 設定サブモードに入ります。
ステップ 3	Switch(cfg-call-home)# <b>profile name</b>	指定された宛先プロファイルに対する Call Home 宛先プロファイル設定サブモードを開始します。指定された宛先プロファイルが存在しない場合、作成されます。

	コマンド	目的
ステップ 4	Switch(cfg-call-home-profile)# [no] destination transport-method {email   http}	(任意) メッセージ転送方法をイネーブルにします。no オプションを選択すると、方法がディセーブルになります。
ステップ 5	Switch(cfg-call-home-profile)# destination address {email email-address   http url}	Call Home メッセージが送信される宛先 E メールアドレスまたは URL を設定します。  (注) 宛先 URL を入力する場合は、サーバがセキュアサーバであるかどうかに応じて <b>http://</b> または <b>https://</b> を指定します。宛先がセキュアサーバである場合、トラストポイント CA も設定する必要があります。
ステップ 6	Switch(cfg-call-home-profile)# destination preferred-msg-format {long-text   short-text   xml}	(任意) 使用するメッセージ形式を設定します。デフォルトは XML です。
ステップ 7	Switch(cfg-call-home-profile)# destination message-size-limit bytes	(任意) 宛先プロファイルの宛先メッセージの最大サイズを設定します。
ステップ 8	Switch(cfg-call-home-profile)# active	宛先プロファイルをイネーブルにします。デフォルトでは、プロファイルは作成時にイネーブルになります。
ステップ 9	Switch(cfg-call-home-profile)# exit	Call Home 宛先プロファイル設定サブモードを終了して、Call Home 設定サブモードに戻ります。
ステップ 10	Switch(cfg-call-home)# end	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 11	Switch# show call-home profile {name   all}	指定されたプロファイル、または設定されたすべてのプロファイルに応じた宛先プロファイル設定を表示します。

## 宛先プロファイルのコピー

既存のプロファイルのコピーして新しい宛先プロファイルを作成するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ 1	Switch# configure terminal	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	Switch(config)# call-home	Call Home 設定サブモードに入ります。
ステップ 3	Switch(cfg-call-home)# copy profile source-profile target-profile	既存の宛先プロファイルと同じ設定で新しい宛先プロファイルを作成します。

## アラート グループへの登録

アラート グループは、スイッチでサポートされる Call Home アラートの定義済みサブセットです。Call Home アラートはタイプごとに別のアラート グループにグループ化されます。次のアラート グループが使用できます。

- Configuration
- Diagnostic
- Environment
- Inventory
- Syslog

各アラートグループの起動イベントは「アラートグループの起動イベントとコマンド」(P.66-19)に示しています。アラートグループメッセージの内容は「メッセージの内容」(P.66-22)に示しています。

宛先プロファイルごとに受信するアラートグループを1つまたは複数選択できます。



(注) Call Home アラートは、その Call Home アラートが含まれているアラートグループに登録されている宛先プロファイルにしか送信されません。さらに、アラートグループをイネーブルにする必要があります。

宛先プロファイルをアラートグループに登録するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ1	Switch# <b>configure terminal</b>	コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ2	Switch(config)# <b>call-home</b>	Call Home 設定サブモードに入ります。
ステップ3	Switch(cfg-call-home)# <b>alert-group</b> { <b>all</b>   <b>configuration</b>   <b>diagnostic</b>   <b>environment</b>   <b>inventory</b>   <b>syslog</b> }	指定されたアラートグループをイネーブルにします。すべてのアラートグループをイネーブルにするには、 <b>all</b> キーワードを使用します。デフォルトでは、すべてのアラートグループがイネーブルになります。
ステップ4	Switch(cfg-call-home)# <b>profile name</b>	指定された宛先プロファイルに対する Call Home 宛先プロファイル設定サブモードを開始します。
ステップ5	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>subscribe-to-alert-group configuration</b> [ <b>periodic</b> { <b>daily</b> hh:mm   <b>monthly</b> date hh:mm   <b>weekly</b> day hh:mm}]	この宛先プロファイルを Configuration アラートグループに登録します。Configuration アラートグループは、「定期的な通知の設定」(P.66-8)で説明しているように、定期的な通知用に設定できます。
	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>subscribe-to-alert-group all</b>	使用可能なすべてのアラートグループに登録します。
ステップ6	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>subscribe-to-alert-group diagnostic</b> [ <b>severity catastrophic</b>   <b>disaster</b>   <b>fatal</b>   <b>critical</b>   <b>major</b>   <b>minor</b>   <b>warning</b>   <b>notification</b>   <b>normal</b>   <b>debugging</b> ]	この宛先プロファイルを Diagnostic アラートグループに登録します。Diagnostic アラートグループは、「メッセージ重大度しきい値の設定」(P.66-8)で説明しているように、重大度に応じてメッセージをフィルタするよう設定できます。
ステップ7	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>subscribe-to-alert-group environment</b> [ <b>severity catastrophic</b>   <b>disaster</b>   <b>fatal</b>   <b>critical</b>   <b>major</b>   <b>minor</b>   <b>warning</b>   <b>notification</b>   <b>normal</b>   <b>debugging</b> ]	この宛先プロファイルを Environment アラートグループに登録します。Environment アラートグループは、「メッセージ重大度しきい値の設定」(P.66-8)で説明しているように、重大度に応じてメッセージをフィルタするよう設定できます。
ステップ8	Switch(cfg-call-home-profile)# <b>subscribe-to-alert-group inventory</b> [ <b>periodic</b> { <b>daily</b> hh:mm   <b>monthly</b> date hh:mm   <b>weekly</b> day hh:mm}]	この宛先プロファイルを Inventory アラートグループに登録します。Inventory アラートグループは、「定期的な通知の設定」(P.66-8)で説明しているように、定期的な通知用に設定できます。

	コマンド	目的
ステップ9	<pre>Switch(cfg-call-home-profile)# subscribe-to-alert-group syslog [severity catastrophic disaster  fatal critical major minor warning  notification normal debugging] [pattern string]</pre>	この宛先プロファイルを Syslog アラートグループに登録します。Syslog アラートグループは、「メッセージ重大度しきい値の設定」(P.66-8) で説明しているように、重大度に応じてメッセージをフィルタするよう設定できます。syslog メッセージで一致するパターンを指定できます。パターンにスペースが含まれている場合は、引用符 (") で囲む必要があります。
ステップ10	<pre>Switch(cfg-call-home-profile)# exit</pre>	Call Home 宛先プロファイル設定サブモードを終了します。

## 定期的な通知の設定

Configuration または Inventory アラートグループに宛先プロファイルに登録すると、指定した期間に定期的または非同期にアラートグループメッセージを受信するよう選択できます。送信期間は、次のいずれかにできます。

- 毎日：24 時間の時間：分形式 *hh:mm*（例：14:30）で送信する時刻を指定します。
- 毎週：*day hh:mm* という形式で曜日と時刻を指定します。ここで、*day* は曜日をスペルアウトします（例：monday）。
- 毎月：*date hh:mm* という形式で 1～31 の日と時刻を指定します。

## メッセージ重大度しきい値の設定

宛先プロファイルを診断、環境、または Syslog アラートグループに登録する場合は、アラートグループメッセージをメッセージの重大度に基づいて送信する際のしきい値を設定できます。しきい値より小さいメッセージは、宛先に送信されません。

重大度しきい値は、表 66-1 のキーワードと、catastrophic（レベル 9、最高レベルの緊急性）から debugging（レベル 0、最低レベルの緊急性）までの範囲を使用して設定します。重大度しきい値が設定されていない場合、デフォルトは normal（レベル 1）です。



(注)

Call Home 重大度は、システムメッセージロギング重大度とは異なります。

表 66-1 重大度と Syslog レベルのマッピング

レベル	キーワード	Syslog レベル	説明
9	catastrophic	N/A	ネットワーク全体に及ぶ深刻な障害
8	disaster	N/A	ネットワークへの重大な影響
7	fatal	緊急 (0)	システムが使用不可
6	critical	アラート (1)	クリティカルな状態、ただちに注意が必要
5	major	クリティカル (2)	メジャー状態
4	minor	エラー (3)	マイナーな状態
3	warning	警告 (4)	警告状態



表 66-1 重大度と Syslog レベルのマッピング (続き)

レベル	キーワード	Syslog レベル	説明
2	notification	通知 (5)	基本の通知および情報メッセージ、個々にはほとんど注意不要
1	normal	情報 (6)	標準状態に戻ることを示す標準イベント
0	debugging	デバッグ (7)	デバッグ メッセージ

## Syslog パターンマッチの設定

宛先プロファイルを Syslog アラート グループに登録すると、各 syslog メッセージ内で一致するテキスト パターンを任意で指定できます。パターンを設定すると、指定されたパターンが含まれ、重大度しきい値に一致する場合にだけ Syslog アラート グループ メッセージが送信されます。パターンにスペースが入っている場合、設定時にそのパターンを引用符 (") で囲む必要があります。宛先プロファイルごとにパターンを 5 つまで指定できます。

## 一般的な E メール オプションの設定

E メール メッセージ転送を使用するには、シンプル メール転送プロトコル (SMTP) E メール サーバアドレスを少なくとも 1 つ設定する必要があります。発信元と返信先 E メール アドレスを設定し、バックアップ E メール サーバを 4 台まで指定できます。E メールまたは HTTP メッセージにレート制限を設定することもできます。

Cisco IOS Release 15.0(2)SG 以降では、E メール メッセージを送信する VRF と送信元インターフェイスまたは送信元 IP アドレスを設定できます。http メッセージを送信する類似のオプションを設定する場合は、送信元インターフェイスが設定する VRF に関連付けることができる **ip http client source-interface interface-name** コマンドを入力する必要があります。

一般的な E メール オプションを設定するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ 1	Switch# <b>configure terminal</b>	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	Switch(config)# <b>call-home</b>	Call Home 設定サブモードに入ります。
ステップ 3	Switch(cfg-call-home)# <b>mail-server</b> {ipv4-address   name} <b>priority number</b>	E メール サーバアドレスを割り当て、設定済みの E メール サーバ内の相対的なプライオリティを割り当てます。  次のいずれかの方法で指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>E メール サーバの IP アドレス</li> <li>E メール サーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN) (64 文字まで)</li> </ul> 1 (最高のプライオリティ) から 100 (最低のプライオリティ) のプライオリティ番号を割り当てます。
ステップ 4	Switch(cfg-call-home)# <b>sender from</b> email-address	(任意) Call Home E メール メッセージの [from] フィールドに表示される E メール アドレスを割り当てます。アドレスが指定されていない場合は、連絡用の E メール アドレスが使用されます。

	コマンド	目的
ステップ5	Switch(cfg-call-home)# <b>sender</b> <b>reply-to</b> email-address	(任意) Call Home E メール メッセージの [reply-to] フィールドに表示される E メール アドレスを割り当てます。
ステップ6	Switch(cfg-call-home)# <b>rate-limit</b> number	(任意) 1 分間に送信するメッセージ数の上限を指定します (1 ~ 60)。デフォルトは 20 です。
ステップ7	Switch(cfg-call-home)# <b>vrf</b> vrf-name	(任意) Call Home E メール メッセージを送信する VRF インスタンスを指定します。VRF を指定しなければ、グローバルルーティングテーブルが使用されます。
ステップ8	Switch(cfg-call-home)# <b>source-interface</b> interface-name	(任意) Call Home E メール メッセージの宛先となる送信元インターフェイス名を指定します。送信元インターフェイス名または送信元 IP アドレスが指定されていない場合、ルーティングテーブルのインターフェイスが使用されます。
ステップ9	Switch(cfg-call-home)# <b>source-ip-address</b> ip-address	(任意) Call Home E メール メッセージの宛先となる送信元 IP アドレスを指定します。送信元 IP アドレスまたは送信元インターフェイス名を指定していない場合、ルーティングテーブルのインターフェイスが使用されます。  (注) 一度に指定できるのは、送信元インターフェイスの名前または送信元 IP アドレスのいずれかです。同時に指定することはできません。

一般的な E メール オプションの設定時には、次の注意が適用されます。

- バックアップ E メール サーバは、異なるプライオリティ番号を使用して、**mail-server** コマンドを繰り返すと定義できます。
- mail-server priority number** パラメータは 1 ~ 100 に設定できます。プライオリティの最も高い (プライオリティ番号が最小の) サーバが最初に試行されます。

次に、プライマリ E メール サーバとセカンダリ E メール サーバを含む、一般的な E メール パラメータの設定例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# call-home
Switch(cfg-call-home)# mail-server smtp.example.com priority 1
Switch(cfg-call-home)# mail-server 192.168.0.1 priority 2
Switch(cfg-call-home)# sender from username@example.com
Switch(cfg-call-home)# sender reply-to username@example.com
Switch(cfg-call-home)# exit
Switch(config)#
```

## Call Home のイネーブル化

Call Home 機能をイネーブルまたはディセーブルにするには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ1	Switch# <b>configure terminal</b>	コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	Switch(config)# <b>service call-home</b>	Call Home 機能をイネーブルにします。

## Call Home の通信のテスト

2 種類のコマンドを使用して、手動でメッセージを送信することで Call Home の通信をテストできます。

- ユーザ定義の Call Home テスト メッセージを送信するには、**call-home test** コマンドを使用します。
- 特定のアラート グループ メッセージを送信するには、**call-home send** コマンドを使用します。

### Call Home テスト メッセージの手動送信

Call Home テスト メッセージを手動で送信するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ 1	Switch# <b>call-home test</b> ["test-message"] <b>profile name</b>	指定された宛先プロファイルにテスト メッセージを送信します。ユーザ定義のテスト メッセージ テキストは任意ですが、スペースが含まれる場合は、引用符 (") で囲む必要があります。ユーザ定義のメッセージが設定されていない場合、デフォルト メッセージが送信されます。

次に、Call Home テスト メッセージを手動で送信する例を示します。

```
Switch# call-home test "test of the day" profile Ciscotacl
```

### Call Home アラート グループ メッセージの手動送信

Call Home アラート グループ メッセージを手動で起動するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ 1	Switch# <b>call-home send alert-group configuration</b> [profile name]	宛先プロファイルの 1 つ（指定されている場合）または登録されているすべての宛先プロファイルに Configuration アラート グループ メッセージを送信します。
	Switch# <b>call-home send alert-group diagnostic</b> {module number   slot/subslot   slot/bay} [profile name]	設定された宛先プロファイル（指定されている場合）または登録されているすべての宛先プロファイルに Diagnostic アラート グループ メッセージを送信します。診断情報が送信されるモジュールまたはポートを指定する必要があります。
	Switch# <b>call-home send alert-group inventory</b> [profile name]	宛先プロファイルの 1 つ（指定されている場合）または登録されているすべての宛先プロファイルに Inventory アラート グループ メッセージを送信します。

Call Home アラート グループ メッセージを手動で送信する場合は、次の点に注意してください。

- 手動で送信できるのは、Configuration、Diagnostic、Inventory アラート グループのみです。
- Configuration、Diagnostic、または Inventory アラート グループ メッセージを手動で起動し、宛先プロファイル名を指定すると、プロファイルのアクティブ ステータス、登録ステータス、または重大度設定に関係なくメッセージが宛先プロファイルに送信されます。
- Configuration または Inventory アラート グループ メッセージを手動で起動し、宛先プロファイル名を指定しないと、normal または指定されたアラート グループへの定期的な登録に指定されたアクティブなプロファイルすべてにメッセージが送信されます。
- Diagnostic アラート グループ メッセージを手動で起動し、宛先プロファイル名を指定しないと、コマンドによって次の動作が行われます。
  - 重大度が minor より下の診断イベントに登録されたアクティブなプロファイルの場合、モジュールまたはインターフェイスが診断イベントを遵守しているかどうかに関係なくメッセージが送信されます。
  - 重大度が minor 以上の診断イベントに登録されたアクティブなプロファイルの場合、指定されたモジュールまたはインターフェイスが、少なくとも登録された重大度の診断イベントを遵守している場合にだけメッセージが送信されます。遵守していない場合、診断メッセージは宛先プロファイルに送信されません。

次に、設定アラート グループ メッセージを宛先プロファイルに送信する例を示します。

```
Switch# call-home send alert-group configuration
```

次に、特定のモジュール、スロット/サブスロットまたはスロット/ベイ番号に関する診断アラート グループ メッセージを宛先プロファイルに送信する例を示します。

```
Switch# call-home send alert-group diagnostic module 3 5/2
```

次に、特定のモジュール、スロット/サブスロットまたはスロット/ベイ番号に関する診断アラート グループ メッセージをすべての宛先プロファイルに送信する例を示します。

```
Switch# call-home send alert-group diagnostic module 3 5/2 profile Ciscotacl
```

次に、インベントリ call-home メッセージを送信する例を示します。

```
Switch# call-home send alert-group inventory
```

## 分析およびレポート要求の送信

**call-home request** コマンドを使用すると、ご使用のシステムの情報をシスコに送信して、システム固有の役立つ情報を受け取ることができます。セキュリティの警告、既知のバグ、ベスト プラクティス、コマンドリファレンスなど、さまざまなレポートを要求できます。

Cisco Output Interpreter ツールからレポートおよび分析情報の要求を送信するには、次のいずれかの作業を行います。

コマンド	目的
Switch# <b>call-home request</b> <b>output-analysis</b> "show-command" [ <b>profile name</b> ] [ <b>ccoid user-id</b> ]	分析用として指定した <b>show</b> コマンドの出力を送信します。 <b>show</b> コマンドは二重引用符 (" ") で囲む必要があります。
Switch# <b>call-home request</b> { <b>config-sanity</b>   <b>bugs-list</b>   <b>command-reference</b>   <b>product-advisory</b> } [ <b>profile name</b> ] [ <b>ccoid user-id</b> ]	分析のため、 <b>show running-config all</b> 、 <b>show version</b> 、 <b>show module</b> コマンドなど所定のコマンドセットの出力を送信します。また、 <b>call-home request product-advisory</b> コマンドには、すべてのコンポーネントアラートグループコマンドが含まれます。  <b>call home request</b> コマンドのあとに指定するキーワードは、必要なレポートのタイプを示します。

Call Home レポートおよび分析要求を手動で送信する場合は、次の注意事項に留意してください。

- **profile name** 値を指定すると、要求はそのプロファイルに送信されます。プロファイル名を指定しないと、要求は Cisco TAC プロファイルに送信されます。Call Home 要求の受信者プロファイルをイネーブルにする必要はありません。プロファイルは、要求メッセージを Cisco TAC に転送することができ、Smart Call Home サービスからの応答を受け取ることができるように、転送ゲートウェイが設定されている E メール アドレスを指定します。
- **ccoid user-id** 値は、Smart Call Home ユーザの登録識別情報です。**user-id** を指定すると、応答は登録ユーザの E メール アドレスに送信されます。**user-id** を指定しないと、応答はデバイス担当者の E メール アドレスに送信されます。
- 要求するレポートのタイプを指定するキーワードに基づいて、次の情報が返されます。
  - **config-sanity** : 現在の実行コンフィギュレーションに関連するベスト プラクティス情報
  - **bugs-list** : 実行バージョンおよび現在適用されている機能に関する既知のバグ
  - **command-reference** : 実行コンフィギュレーションのすべてのコマンドに対する参照リンク
  - **product-advisory** : ネットワーク内の装置に影響を与える可能性がある Product Security Incident Response Team (PSIRT) 警告、廃止 (EOL) または End of Sales (EOS; 販売終了) 警告、Field Notice (FN) のいずれか

次に、ユーザが指定した **show** コマンドの分析を要求する例を示します。

```
Switch# call-home request output-analysis "show diagnostic result module all" profile TG
```

## コマンド出力の送信

**call-home send** コマンドを使用すると、Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) を実行し、コマンド出力をシスコまたは指定の電子メールアドレスに送信できます。

CLI コマンドを実行し、コマンド出力を電子メールで送信するには、次の作業を行います。

コマンド	目的
Switch# <b>call-home send</b> "command" [ <b>email email-addr</b> ] [ <b>service-number SR</b> ]	指定された CLI コマンドを実行し、出力を電子メールで送信します。

コマンドの出力を送信する際、次の注意事項に留意してください。

- CLI コマンドには、すべてのモジュールのコマンドなど、任意の実行コマンドを指定できます。コマンドは引用符 ( " ") で囲む必要があります。
- 電子メールアドレスを指定した場合、そのアドレスにコマンド出力が送信されます。電子メールアドレスを指定しない場合は、Cisco TAC (attach@cisco.com) に出力が送信されます。電子メールは件名の行にサービス番号 (指定した場合) が付いたロング テキスト形式で送信されます。
- 電子メールアドレスを指定しない場合、または Cisco TAC 電子メールアドレスを指定した場合に限り、サービス番号が必要になります。

次に、CLI コマンドの出力をユーザ指定の電子メールアドレスに送信する例を示します。

```
Switch# call-home send "show diagnostic result module all" email support@example.com
```

## Smart Call Home の設定とイネーブル化

Cisco Smart Call Home サービスの適用と設定の情報については、次の URL の『*Smart Call Home User Guide*』の「FastStart」の項を参照してください。

<http://www.cisco.com/go/smartcall/>

ユーザ ガイドには、デバイスから直接、または転送ゲートウェイ (TG) 集約ポイントを介して Smart Call Home メッセージを送信するための設定例が記載されています。複数のデバイスをサポートする必要のある場合や、セキュリティ要件によってデバイスがインターネットに直接接続されないことが必要とされる場合は、TG 集約ポイントを使用できます。

Smart Call Home サービスは転送方法として HTTPS を使用するため、『*Smart Call Home User Guide*』で説明されているように CA をトラストポイントとして設定する必要もあります。

## Call Home 設定情報の表示

設定された Call Home 情報を表示するには、次の作業を行います。

コマンド	目的
Switch# <code>show call-home</code>	Call Home 設定の概要を表示します。
Switch# <code>show call-home detail</code>	Call Home 設定の詳細を表示します。
Switch# <code>show call-home alert-group</code>	使用可能なアラート グループとそれらのステータスを表示します。
Switch# <code>show call-home mail-server status</code>	設定済みの E メール サーバの可用性を確認して表示します。
Switch# <code>show call-home profile {all   name}</code>	指定された宛先プロファイルの設定を表示します。 <b>all</b> キーワードを使用してすべての宛先プロファイルの設定を表示します。
Switch# <code>show call-home statistics</code>	Call Home イベントの統計情報を表示します。

例 66-1 ~ 66-7 は、`show call-home` コマンドの各種オプションを使用した結果を示しています。

**例 66-1 設定済みの Call Home 情報**

```
Switch# show call-home
call home feature : disable
  call home message's from address: switch@example.com
  call home message's reply-to address: support@example.com

vrf for call-home messages: Not yet set up

contact person's email address: technical@example.com

contact person's phone number: +1-408-555-1234
street address: 1234 Picaboo Street, Any city, Any state, 12345
customer ID: ExampleCorp
contract ID: X123456789
site ID: SantaClara
source ip address: Not yet set up
source interface: Not yet set up
Mail-server[1]: Address: smtp.example.com Priority: 1
Mail-server[2]: Address: 192.168.0.1 Priority: 2
Rate-limit: 20 message(s) per minute

Available alert groups:
  Keyword                State  Description
  -----
  configuration          Disable configuration info
  diagnostic             Disable diagnostic info
  environment           Disable environmental info
  inventory             Enable  inventory info
  syslog                Disable syslog info

Profiles:
  Profile Name: campus-noc
  Profile Name: CiscoTAC-1

Switch#
```

**例 66-2 設定済みの Call Home 情報の詳細**

```
Switch# show call-home detail
Current call home settings:
call home feature : disable
  call home message's from address: switch@example.com
  call home message's reply-to address: support@example.com

vrf for call-home messages: Not yet set up

contact person's email address: technical@example.com

contact person's phone number: +1-408-555-1234
street address: 1234 Picaboo Street, Any city, Any state, 12345
customer ID: ExampleCorp
contract ID: X123456789
site ID: SantaClara
source ip address: Not yet set up
source interface: Not yet set up
Mail-server[1]: Address: smtp.example.com Priority: 1
Mail-server[2]: Address: 192.168.0.1 Priority: 2
Rate-limit: 20 message(s) per minute

Available alert groups:
  Keyword                State  Description
  -----
  configuration          Disable configuration info
```

```

diagnostic          Disable diagnostic info
environment         Disable environmental info
inventory           Enable  inventory info
syslog              Disable syslog info

Profiles:

Profile Name: campus-noc
  Profile status: ACTIVE
  Preferred Message Format: long-text
  Message Size Limit: 3145728 Bytes
  Transport Method: email
  Email address(es): noc@example.com
  HTTP  address(es): Not yet set up

Alert-group          Severity
-----
inventory            normal

Syslog-Pattern       Severity
-----
N/A                  N/A

Profile Name: CiscoTAC-1
  Profile status: ACTIVE
  Preferred Message Format: xml
  Message Size Limit: 3145728 Bytes
  Transport Method: email
  Email address(es): callhome@cisco.com
  HTTP  address(es): https://tools.cisco.com/its/service/oddce/services/DDCEService

Periodic configuration info message is scheduled every 1 day of the month at 09:27

Periodic inventory info message is scheduled every 1 day of the month at 09: 12

Alert-group          Severity
-----
diagnostic           minor
environment          warning
inventory            normal

Syslog-Pattern       Severity
-----
.*                   major
Switch#

```

**例 66-3 使用可能な Call Home アラート グループ**

```

Switch# show call-home alert-group
Available alert groups:
  Keyword          State  Description
  -----
  configuration    Disable configuration info
  diagnostic        Disable diagnostic info
  environment      Disable environmental info
  inventory        Enable  inventory info
  syslog           Disable syslog info

Switch#

```

**例 66-4 E メール サーバのステータス情報**

```

Switch# show call-home mail-server status
Please wait. Checking for mail server status ...

```



```

Translating "smtp.example.com"
Mail-server[1]: Address: smtp.example.com Priority: 1 [Not Available]
Mail-server[2]: Address: 192.168.0.1 Priority: 2 [Not Available]

Switch#

```

#### 例 66-5 すべての宛先プロファイルの情報（定義済みおよびユーザ定義）

```

Switch# show call-home profile all

Profile Name: campus-noc
Profile status: ACTIVE
Preferred Message Format: long-text
Message Size Limit: 3145728 Bytes
Transport Method: email
Email address(es): noc@example.com
HTTP address(es): Not yet set up

Alert-group          Severity
-----
inventory            normal

Syslog-Pattern       Severity
-----
N/A                  N/A

Profile Name: CiscoTAC-1
Profile status: ACTIVE
Preferred Message Format: xml
Message Size Limit: 3145728 Bytes
Transport Method: email
Email address(es): callhome@cisco.com
HTTP address(es): https://tools.cisco.com/its/service/oddce/services/DDCEService

Periodic configuration info message is scheduled every 1 day of the month at 09:27

Periodic inventory info message is scheduled every 1 day of the month at 09:12

Alert-group          Severity
-----
diagnostic           minor
environment          warning
inventory            normal

Syslog-Pattern       Severity
-----
.*                   major

Switch#

```

#### 例 66-6 ユーザ定義宛先プロファイルの情報

```

Switch# show call-home profile CiscoTAC-1
Profile Name: CiscoTAC-1
Profile status: INACTIVE
Preferred Message Format: xml
Message Size Limit: 3145728 Bytes
Transport Method: email
Email address(es): callhome@cisco.com
HTTP address(es): https://tools.cisco.com/its/service/oddce/services/DDCEService

```

Periodic configuration info message is scheduled every 11 day of the month at 11:25

Periodic inventory info message is scheduled every 11 day of the month at 11:10

```
Alert-group          Severity
-----
diagnostic           minor
environment          warning
inventory            normal

Syslog-Pattern      Severity
-----
.*                  major
```

### 例 66-7 Call Home の統計情報

```
Switch# show call-home statistics
Message Types      Total      Email      HTTP
-----
Total Success     0          0          0
  Config          0          0          0
  Diagnostic      0          0          0
  Environment     0          0          0
  Inventory       0          0          0
  SysLog          0          0          0
  Test            0          0          0
  Request         0          0          0
  Send-CLI       0          0          0

Total In-Queue    0          0          0
  Config          0          0          0
  Diagnostic      0          0          0
  Environment     0          0          0
  Inventory       0          0          0
  SysLog          0          0          0
  Test            0          0          0
  Request         0          0          0
  Send-CLI       0          0          0

Total Failed      0          0          0
  Config          0          0          0
  Diagnostic      0          0          0
  Environment     0          0          0
  Inventory       0          0          0
  SysLog          0          0          0
  Test            0          0          0
  Request         0          0          0
  Send-CLI       0          0          0

Total Ratelimit
  -dropped       0          0          0
  Config          0          0          0
  Diagnostic      0          0          0
  Environment     0          0          0
  Inventory       0          0          0
  SysLog          0          0          0
  Test            0          0          0
  Request         0          0          0
  Send-CLI       0          0          0

Last call-home message sent time: n/a
```

## Call Home のデフォルト設定

表 66-2 は Call Home のデフォルト設定を示しています。

表 66-2 Call Home のデフォルト設定

パラメータ	デフォルト
Call Home 機能のステータス	ディセーブル
ユーザ定義プロファイルのステータス	アクティブ
定義済みのシスコ TAC プロファイルのステータス	非アクティブ
転送方法	E メール
メッセージのフォーマットタイプ	XML
ロングテキスト、ショートテキスト、または XML 形式で送信されるメッセージの宛先メッセージのサイズ	3,145,728
アラートグループのステータス	イネーブル
Call Home メッセージの重大度しきい値	1 (normal)
1 分間に送信するメッセージのレート制限	20

## アラートグループの起動イベントとコマンド

Call Home 起動イベントはアラートグループにグループ化され、各アラートグループにはイベントの発生時に実行するよう CLI コマンドが割り当てられます。CLI コマンド出力は転送されるメッセージに含まれます。表 66-3 に、各アラートグループに含まれる起動イベントを示します。これには、各イベントの重大度と実行されるアラートグループの CLI コマンドも含まれます。

表 66-3 Call Home アラートグループ、イベント、および動作

アラートグループ	Call Home 起動イベント	Syslog イベント	重大度	説明と実行される CLI コマンド
Syslog				syslog にログ記録されるイベント (syslog レベル 0、1、または 2 の場合だけ、TAC に送信)。 実行される CLI コマンド <b>show logging</b> <b>show inventory</b>
	SYSLOG	LOG_EMERG	7	システムは使用不能。
	SYSLOG	LOG_ALERT	6	即時対処が必要。
	SYSLOG	LOG_CRIT	5	クリティカルな状態。
	SYSLOG	LOG_ERR	4	エラー状態。
	SYSLOG	LOG_WARNING	3	警告状態。
	SYSLOG	LOG_NOTICE	2	正常だが重大な状態。
	SYSLOG	LOG_INFO	1	情報。
	SYSLOG	LOG_DEBUG	0	デバッグレベルメッセージ。

表 66-3 Call Home アラートグループ、イベント、および動作（続き）

アラートグループ	Call Home 起動イベント	Syslog イベント	重大度	説明と実行される CLI コマンド
Environmental				電源、ファン、温度アラームのような環境感知要素に関連するイベント（TAC に送信）。 実行される CLI コマンド <b>show module</b> <b>show environment</b> <b>show logging</b> <b>show power</b> <b>show inventory</b>
	TEMP_FAILURE	TempHigh	5	シャーシの温度が通常しきい値を超過
	TEMP_FAILURE	Critical Temp	5	シャーシの温度が重大しきい値を超過
	TEMP_FAILURE	Shutdown Temp	5	シャーシの温度が非常に高いため、システムがシャットダウン
	TEMP_FAILURE	Some Temp Sensors Failed	3	一部の温度センサーが故障
	TEMP_FAILURE	All Temp Sensors Failed	5	すべての温度センサーが故障
	TEMP_RECOVER	TempOk	5	シャーシの温度は正常
	POWER_FAILURE	PowerSupplyBad	5	電源が故障またはオフ
	POWER_RECOVERY	PowerSupplyGood	5	故障した電源が修復
	POWER_FAILURE	PowerSupplyFanBad	3	電源ファンが故障
	POWER_RECOVERY	PowerSupplyFanGood	3	故障した電源ファンが修復
	POWER_RECOVERY	PowerSupplyOutputIncreased	3	電源出力上昇
	POWER_FAILURE	PowerSupplyOutputDecreased	3	電源出力低下
	POWER_FAILURE	InlinePowerSupplyBad	3	電源からのインラインパワーソースが故障またはオフ
	POWER_FAILURE	MixedPowerSupplyInChassis	3	混合電源がシャーシ内で検出
	POWER_FAILURE	NotEnoughPowerChassis	6	システムをサポートする電源が不足。システムがシャットダウンする可能性がある。
	POWER_RECOVERY	InlinePowerSupplyGood	3	故障したインラインパワーソースが修復
	FANTRAY_FAILURE	FanTrayPartialFailure	3	システムファントレイのファンまたはサーミスターが故障

表 66-3 Call Home アラートグループ、イベント、および動作 (続き)

アラートグループ	Call Home 起動イベント	Syslog イベント	重大度	説明と実行される CLI コマンド
	FANTRAY_FAILURE	FanTrayMismatch	3	ファントレイ、スーパーバイザ、シャーシの組み合わせが不正
	FANTRAY_FAILURE	FanTrayBad	5	ファントレイが故障
	FANTRAY_RECOVERY	FanTrayGood	3/5	故障していたファントレイが修復。通知の重大度は修復した故障によって異なる。
	FANTRAY_FAILURE	InsufficientFantray	6	システムをサポートするファントレイが不足。システムのシャットダウンにつながる可能性あり。
	CLOCK_ALARM	ClockSwitchover	2	クロックモジュールを別のクロックに切り替え
	CLOCK_ALARM	Clock Faulty	3	クロックモジュールで異常が検出。
Inventory				Inventory ステータスは、ユニットがコールドブートされた場合や、FRU が挿入または取り外された場合に指定される。これは重要ではないイベントと見なされます。この情報はステータスと表題に使用されます。 実行される CLI コマンド <b>show module</b> <b>show version</b> <b>show inventory oid</b> <b>show idprom all</b> <b>show power</b>
	INSERTION	Module	1	ラインカードまたはスーパーバイザエンジンをスロットに挿入
	REMOVAL	Module	1	ラインカードまたはスーパーバイザエンジンをスロットから取り外し
Diagnostic Failure			1/3/4/5	標準またはインテリジェントラインカードに関連するイベント 実行される CLI コマンド <b>show module</b> <b>show version</b> <b>show inventory</b> <b>show buffers</b> <b>show logging</b> <b>show diagnostic result module x detail</b> <b>show diagnostic result module all</b>

表 66-3 Call Home アラート グループ、イベント、および動作 (続き)

アラート グループ	Call Home 起動イベント	Syslog イベント	重大度	説明と実行される CLI コマンド
Test	TEST		1	ユーザが作成したテスト メッセージ 実行される CLI コマンド <b>show module</b> <b>show version</b> <b>show inventory</b>
Configuration			1	ユーザが作成した設定要求 実行される CLI コマンド <b>show module</b> <b>show inventory</b> <b>show version</b> <b>show running-config all</b> <b>show startup-config</b>

## メッセージの内容

次の表に、アラート グループ メッセージの内容の形式を示します。

- 表 66-4 では、ショート テキスト メッセージの内容フィールドについて説明しています。
- 表 66-5 では、ロング テキスト メッセージと XML メッセージすべてに共通の内容フィールドについて説明しています。特定のアラート グループ メッセージに固有のフィールドは、共通フィールドの間に挿入されます。挿入ポイントは表に示しています。
- 表 66-6 では、リアクティブ メッセージ (TAC を必要とするシステム障害) とプロアクティブ メッセージ (システム パフォーマンスが低下する可能性のある問題) に挿入される内容フィールドについて説明しています。
- 表 66-7 では、コンポーネント メッセージに挿入される内容フィールドについて説明しています。

表 66-4 ショート テキスト メッセージの形式

データ項目	説明
Device identification	設定されたデバイス名
Date/time stamp	起動イベントのタイム スタンプ
Error isolation message	起動イベントの簡単な説明 (英語)
Alarm urgency level	システム メッセージに適用されるようなエラー レベル

表 66-5 ロング テキスト メッセージと XML メッセージすべてに共通のフィールド

データ項目 (プレーン テキスト と XML)	説明 (プレーン テキストと XML)	XML タグ (XML のみ)
Time stamp	ISO 時刻表記のイベントの日付とタイムスタンプ: YYYY-MM-DDTHH:MM:SS 日付と時刻の間に T を記載します。UTC との timezone/dst のオフセットはすでに増減済みです。	CallHome/EventTime
Message name	メッセージの名前。	ショート テキスト メッセージの場合のみ
Message type	"Call Home" を指定。	CallHome/Event/Type
Message group	"reactive" を指定。デフォルトは "reactive" であるため、この場合は任意です。	CallHome/Event/SubType
Severity level	メッセージの重大度。	Body/Block/Severity
Source ID	このフィールドは、ワーク フローのエンジンを使用してルーティングのための製品タイプを識別するために使用されます。通常は、製品ファミリ名です。	長いテスト メッセージの場合のみ
Device ID	メッセージを生成するエンド デバイスの Unique Device Identifier (UDI)。メッセージがファブリック スイッチに固有のものでない場合、このフィールドは空です。 形式 : type@Sid@serial それぞれの説明は次のとおりです。 @: セパレータ文字 <ul style="list-style-type: none"> <li>Type : WS-C4503-E の場合、バックプレーン SEEPROM から読み取られる製品モデル番号</li> <li>Sid: シャーシのシリアル番号としてシリアル ID を特定する "C"。</li> <li>Serial : Sid フィールドで識別されるシリアル番号</li> </ul> 例 : "WS-C4503-E@C@SPE4465329F"	CallHome/Customer Data/ ContractData/ DeviceId
Customer ID	サポート サービスによって契約情報やその他の ID に使用されるオプションのユーザ設定可能なフィールド。	CallHome/Customer Data/ContractData/CustomerId
Contract ID	サポート サービスによって契約情報やその他の ID に使用されるオプションのユーザ設定可能なフィールド。	/CallHome/ Customer Data/ ContractData/ ContractId
Site ID	シスコが提供したサイト ID または別のサポート サービスにとって意味のあるその他のデータに使用されるオプションのユーザ設定可能なフィールド。	CallHome/ CustomerData/ ContractData/ SiteId

表 66-5 ロング テキスト メッセージと XML メッセージすべてに共通のフィールド (続き)

データ項目 (プレーン テキスト と XML)	説明 (プレーン テキストと XML)	XML タグ (XML のみ)
Server ID	メッセージがファブリック スイッチから生成される場合、そのスイッチの UDI。メッセージが MA で代行または発信される場合、MA は MA UDI でこのフィールドを上書きします。 形式は type@Sid@serial です。 それぞれの説明は次のとおりです。 @:セパレータ文字 <ul style="list-style-type: none"> <li>type : WS-C4510R の場合、バックプレーン SEEPROM から読み取られる製品モデル番号</li> <li>SID: シャーシ シリアル番号としてのシリアル ID を識別する「C」</li> <li>Serial : Sid フィールドで識別されるシリアル番号</li> </ul> 例 : "WS-C4510R@C@CAT234765XR"	ロング テキスト メッセージの場合のみ
Message description	エラーを説明する短い文章。	CallHome/MessageDescription
Device name	イベントが発生するノード。デバイスのホスト名です。	CallHome/ CustomerData/ SystemInfo/ Name
Contact name	イベントの発生するノードに関連する問題を連絡する人物の名前。	CallHome/CustomerData/Sys-temInfo/Contact
Contact e-mail	このユニットの連絡先である人物の E メールアドレス。	CallHome/CustomerData/Sys-temInfo/ContactEmail
Contact phone number	このユニットの連絡先である人物の電話番号。	CallHome/CustomerData/Sys-temInfo/ContactPhoneNumber
Street address	このユニットに関連付けられた RMA 部品出荷の住所を含むオプションのフィールド。	CallHome/CustomerData/Sys-temInfo/StreetAddress
Model name	装置のモデル名 (WS-C4503 など)。製品ファミリ名の一部としての固有モデル。	CallHome/Device/Cisco_ Chassis/Model
Serial number	ユニットのシャーシのシリアル番号	CallHome/Device/Cisco_ Chassis/SerialNumber
Chassis part number	SEEPROM から読み込まれる、シャーシの上位アセンブリ番号 (WS-C4503 = 73-10558 など)。	CallHome/Device/Cisco_ Chassis/AdditionalInformation/AD@name="PartNumber"

特定のアラート グループ メッセージの固有のフィールドは、ここに挿入されます。

このアラート グループに対して複数の CLI コマンドが実行されると、次のフィールドが繰り返される場合があります。

Command output name	実行されたコマンドの正確な記述 ( <b>show running-config</b> コマンドなど)。	/aml/attachments/attachment/name
---------------------	---	----------------------------------



表 66-5 ロング テキスト メッセージと XML メッセージすべてに共通のフィールド (続き)

データ項目 (プレーン テキスト と XML)	説明 (プレーン テキストと XML)	XML タグ (XML のみ)
Attachment type	コマンド出力を指定	/aml/Attachments/attachment @type
MIME type	通常はテキスト/プレーンまたは符号化タイプ	/aml/Attachments/Attachment /Data@encoding

表 66-6 対処的または予防的イベント メッセージに挿入されるフィールド

データ項目 (プレーン テキスト と XML)	説明 (プレーン テキストと XML)	XML タグ (XML のみ)
Chassis hardware version	シャーシのハードウェア バージョン	CallHome/Device/Cisco_Chassis/HardwareVersion
Supervisor module software version	最上位ソフトウェア バージョン	CallHome/Device/Cisco_Chassis/AdditionalInformation/AD @name="SoftwareVersion"
Affected FRU name	イベント メッセージを生成している問題の FRU の名前	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/Model
Affected FRU serial number	問題を起こした FRU のシリアル番号	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/SerialNumber
Affected FRU part number	問題を起こした FRU の部品番号	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/PartNumber
FRU slot	イベント メッセージを生成している FRU のスロット番号	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/LocationWithinContainer
FRU hardware version	問題を起こした FRU のハードウェア バージョン	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/HardwareVersion
FRU software version	問題を起こした FRU で動作するソフトウェア バージョン	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/SoftwareIdentity/VersionString

表 66-7 コンポーネント イベント メッセージの挿入フィールド

データ項目 (プレーン テキスト と XML)	説明 (プレーン テキストと XML)	XML タグ (XML のみ)
Chassis hardware version	シャーシのハードウェア バージョン	CallHome/Device/Cisco_Chassis/HardwareVersion
Supervisor module software version	最上位ソフトウェア バージョン	CallHome/Device/Cisco_Chassis/AdditionalInformation/AD @name="SoftwareVersion"

表 66-7 コンポーネント イベント メッセージの挿入フィールド (続き)

データ項目 (プレーン テキスト と XML)	説明 (プレーン テキストと XML)	XML タグ (XML のみ)
Affected FRU name	イベント メッセージを生成している問題の FRU の名前	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/Model
Affected FRU s/n	問題を起こした FRU のシリアル番号	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/SerialNumber
Affected FRU part number	問題を起こした FRU の部品番号	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/PartNumber
FRU slot	イベント メッセージを生成している FRU のスロット番号	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/LocationWithinContainer
FRU hardware version	問題を起こした FRU のハードウェア バージョン	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/HardwareVersion
FRU software version	問題を起こした FRU で動作するソフトウェア バージョン	CallHome/Device/Cisco_Chassis/Cisco_Card/SoftwareIdentity/VersionString

## ログ テキスト形式による Syslog アラート通知の例

```

TimeStamp : 2009-02-06 12:57 GMT+00:00
Message Name : syslog
Message Type : Call Home
Message Group : reactive
Severity Level : 2
Source ID : Cat4500/4900
Device ID : WS-C4510R@C@1234567
Customer ID :
Contract ID :
Site ID :
Server ID : WS-C4510R@C@1234567
Event Description : *Feb 6 12:57:54.121: %CLEAR-5-COUNTERS: Clear counter on all
interfaces by console
System Name : Router
Contact Email : abc@example.com
Contact Phone :
Street Address :
Affected Chassis : WS-C4510R
Affected Chassis Serial Number : 1234567
Affected Chassis Part No : 12-3456-78
Affected Chassis Hardware Version : 1.1
Supervisor Software Version : 12.2(20090204:112419)
Command Output Name : show logging
Attachment Type : command output
MIME Type : text/plain
Command Output Text :
Syslog logging: enabled (0 messages dropped, 1 messages rate-limited, 0 flushes, 0
overruns, xml disabled, filtering disabled)

No Active Message Discriminator.

```

No Inactive Message Discriminator.

```

Console logging: level debugging, 95 messages logged, xml disabled,
                  filtering disabled
Monitor logging: level debugging, 0 messages logged, xml disabled,
                  filtering disabled
Buffer logging:  level debugging, 95 messages logged, xml disabled,
                  filtering disabled
Exception Logging: size (8192 bytes)
Count and timestamp logging messages: disabled
Persistent logging: disabled

```

No active filter modules.

```

Trap logging: level informational, 118 message lines logged

```

Log Buffer (4096 bytes):

```

00:59:54.379: %CALL_HOME-3-HTTP_REQUEST_FAILED: failed to send HTTP request to :
              https://172.17.46.17/its/service/oddce/services/DDCEService
              (ERR 107 : Bad parameters)
*Feb 6 00:59:55.379: %CALL_HOME-3-HTTP_REQUEST_FAILED: failed to send HTTP request to :
              https://172.17.46.17/its/service/oddce/services/DDCEService
              (ERR 107 : Bad parameters)
*Feb 6 01:04:37.903: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 01:04:51.783: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 1 has been
removed
*Feb 6 01:04:56.047: %CALL_HOME-3-SMTP_SEND_FAILED: Unable to send notification using all
SMTP servers (ERR 6, error in reply from SMTP server)
*Feb 6 01:05:01.823: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 1
(PWR-C45-1300ACV S/N: DTM123900VH Hw: 5.2) has been inserted
*Feb 6 01:05:01.823: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYBAD: Power supply 1 has failed or
been turned off
*Feb 6 01:05:01.823: %C4K_CHASSIS-3-MIXINPOWERDETECTED: Power supplies in the chassis are
of different types (AC/DC) or wattage
*Feb 6 01:05:51.827: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 1 has been
removed
*Feb 6 01:05:56.087: %CALL_HOME-3-SMTP_SEND_FAILED: Unable to send notification using all
SMTP servers (ERR 6, error in reply from SMTP server)
*Feb 6 01:05:56.867: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 1
(PWR-C45-1300ACV S/N: DTM123900VH Hw: 5.2) has been inserted
*Feb 6 01:05:56.867: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYBAD: Power supply 1 has failed or
been turned off
*Feb 6 01:05:56.867: %C4K_CHASSIS-3-MIXINPOWERDETECTED: Power supplies in the chassis are
of different types (AC/DC) or wattage
*Feb 6 01:06:31.871: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 2 has been
removed
*Feb 6 01:06:31.871: %C4K_CHASSIS-3-INSUFFICIENTPOWERSUPPLIESDETECTED: Insufficient power
supplies present for specified configuration
*Feb 6 01:06:31.871: %C4K_CHASSIS-2-INSUFFICIENTPOWERDETECTED: Insufficient power
available for the current chassis configuration
*Feb 6 01:06:36.907: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 2
(PWR-C45-1400AC S/N: AZS11260B3M Hw: 2.3) has been inserted
*Feb 6 01:08:06.911: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 1 has been
removed
*Feb 6 01:08:11.171: %CALL_HOME-3-SMTP_SEND_FAILED: Unable to send notification using all
SMTP servers (ERR 6, error in reply from SMTP server)
*Feb 6 01:08:11.951: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 1
(PWR-C45-1300ACV S/N: DTM123900VH Hw: 5.2) has been inserted
*Feb 6 01:08:11.951: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYBAD: Power supply 1 has failed or
been turned off

```

```

*Feb 6 01:08:11.951: %C4K_CHASSIS-3-MIXINPOWERDETECTED: Power supplies in the chassis are
of different types (AC/DC) or wattage
*Feb 6 01:10:35.371: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 01:12:06.955: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 1 has been
removed
*Feb 6 01:12:11.995: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 1
(PWR-C45-1300ACV S/N: DTM123900VH Hw: 5.2) has been inserted
*Feb 6 01:12:11.995: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYBAD: Power supply 1 has failed or
been turned off
*Feb 6 01:12:11.995: %C4K_CHASSIS-3-MIXINPOWERDETECTED: Power supplies in the chassis are
of different types (AC/DC) or wattage
*Feb 6 01:13:06.999: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 2 has been
removed
*Feb 6 01:13:06.999: %C4K_CHASSIS-3-INSUFFICIENTPOWERSUPPLIESDETECTED: Insufficient power
supplies present for specified configuration
*Feb 6 01:13:06.999: %C4K_CHASSIS-2-INSUFFICIENTPOWERDETECTED: Insufficient power
available for the current chassis configuration
*Feb 6 01:13:12.035: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 2
(PWR-C45-1400AC S/N: AZS11260B3M Hw: 2.3) has been inserted
*Feb 6 01:36:04.079: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 12:51:46.001: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 12:54:15.905: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
Switch#
Command Output Name : show inventory
Attachment Type : command output
MIME Type : text/plain
Command Output Text : NAME: "Switch System", DESCR: "Cisco Systems, Inc. WS-C4510R 10 slot
switch "
PID: WS-C4510R          , VID: V06  , SN: 1234567

NAME: "Clock Module", DESCR: "Clock Module"
PID: WS-X4K-CLOCK      , VID: V04  , SN: 12345671

NAME: "Mux Buffer 3 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345672

NAME: "Mux Buffer 4 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345673

NAME: "Mux Buffer 5 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345674

NAME: "Mux Buffer 6 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345675

NAME: "Mux Buffer 7 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345676

NAME: "Mux Buffer 8 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345677

NAME: "Mux Buffer 9 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345678

NAME: "Mux Buffer 10 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345679

NAME: "Linecard(slot 2)", DESCR: "Supervisor V-10GE with 2 10GE X2 ports, and 4 1000BaseX
SFP ports"
PID: WS-X4516-10GE    , VID: V07  , SN: 1234567A

NAME: "Linecard(slot 3)", DESCR: "10/100/1000BaseT (RJ45)V with 48 10/100/1000 baseT voice
power ports (Cisco/IEEE)"
PID: WS-X4548-GB-RJ45V , VID: V08  , SN: 1234567B

```

```

NAME: "Linecard(slot 4)", DESCR: "10/100/1000BaseT (RJ45)V with 48 10/100/1000 baseT voice
power ports (Cisco/IEEE)"
PID: WS-X4548-GB-RJ45V , VID: V08 , SN: 1234567C

NAME: "Linecard(slot 5)", DESCR: "10/100BaseTX (RJ45) with 32 10/100 baseT and 4 100FX
daughtercard ports"
PID: WS-X4232-RJ-XX , VID: V05 , SN: 1234567D

NAME: "Fan", DESCR: "FanTray"
PID: WS-X4582 , VID: V03 , SN: 1234567E

NAME: "Power Supply 1", DESCR: "Power Supply ( AC 1300W )"
PID: PWR-C45-1300ACV , VID: V05 , SN: 1234567F

NAME: "Power Supply 2", DESCR: "Power Supply ( AC 1400W )"
PID: PWR-C45-1400AC , VID: V04 , SN: 1234567G

```

## XML 形式による Syslog アラート通知の例

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<soap-env:Envelope xmlns:soap-env="http://www.w3.org/2003/05/soap-envelope">
<soap-env:Header>
<aml-session:Session xmlns:aml-session="http://www.cisco.com/2004/01/aml-session"
soap-env:mustUnderstand="true"
soap-env:role="http://www.w3.org/2003/05/soap-envelope/role/next">
<aml-session:To>http://tools.cisco.com/neddce/services/DDCEService</aml-session:To>
<aml-session:Path>
<aml-session:Via>http://www.cisco.com/appliance/uri</aml-session:Via>
</aml-session:Path>
<aml-session:From>http://www.cisco.com/appliance/uri</aml-session:From>
<aml-session:MessageId>M44:1234567:abcd</aml-session:MessageId>
</aml-session:Session>
</soap-env:Header>
<soap-env:Body>
<aml-block:Block xmlns:aml-block="http://www.cisco.com/2004/01/aml-block">
<aml-block:Header>
<aml-block:Type>http://www.cisco.com/2005/05/callhome/syslog</aml-block:Type>
<aml-block:CreationDate>2009-02-06 12:58:31 GMT+00:00</aml-block:CreationDate>
<aml-block:Builder>
<aml-block:Name>Cat4500/4900</aml-block:Name>
<aml-block:Version>2.0</aml-block:Version>
</aml-block:Builder>
<aml-block:BlockGroup>
<aml-block:GroupId>G45:1234567:abcd</aml-block:GroupId>
<aml-block:Number>0</aml-block:Number>
<aml-block:IsLast>true</aml-block:IsLast>
<aml-block:IsPrimary>true</aml-block:IsPrimary>
<aml-block:WaitForPrimary>>false</aml-block:WaitForPrimary>
</aml-block:BlockGroup>
<aml-block:Severity>2</aml-block:Severity>
</aml-block:Header>
<aml-block:Content>
<ch:CallHome xmlns:ch="http://www.cisco.com/2005/05/callhome" version="1.0">
<ch:EventTime>2009-02-06 12:58:30 GMT+00:00</ch:EventTime>
<ch:MessageDescription>*Feb 6 12:58:30.293: %CLEAR-5-COUNTERS: Clear counter on all
interfaces by console</ch:MessageDescription>
<ch:Event>
<ch:Type>syslog</ch:Type>
<ch:SubType></ch:SubType>
<ch:Brand>Cisco Systems</ch:Brand>
<ch:Series>Cat4k Series Switches</ch:Series>

```

```

</ch:Event>
<ch:CustomerData>
<ch:UserData>
<ch:Email>abc@example.com</ch:Email>
</ch:UserData>
<ch:ContractData>
<ch:CustomerId></ch:CustomerId>
<ch:SiteId></ch:SiteId>
<ch:ContractId></ch:ContractId>
<ch:DeviceId>WS-C4510R@C@1234567</ch:DeviceId>
</ch:ContractData>
<ch:SystemInfo>
<ch>Name>Switch</ch>Name>
<ch>Contact></ch>Contact>
<ch>ContactEmail>abc@example.com</ch>ContactEmail>
<ch>ContactPhoneNumber></ch>ContactPhoneNumber>
<ch:StreetAddress></ch:StreetAddress>
</ch:SystemInfo>
<ch:CCOID></ch:CCOID>
</ch:CustomerData>
<ch:Device>
<rme:Chassis xmlns:rme="http://www.cisco.com/rme/4.0">
<rme:Model>WS-C4510R</rme:Model>
<rme:HardwareVersion>1.1</rme:HardwareVersion>
<rme:SerialNumber>1234567</rme:SerialNumber>
<rme:AdditionalInformation>
<rme:AD name="PartNumber" value="12-3456-05" />
<rme:AD name="SoftwareVersion" value="12.2(20090204:112419)" />
<rme:AD name="SystemObjectId" value="1.2.3.4.5.6.7.537" />
<rme:AD name="SystemDescription" value="Cisco IOS Software, Catalyst 4500 L3 Switch
Software (cat4500-ENTSERVICES-M), Experimental Version 12.2(20090204:112419) Copyright (c)
1986-2009 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Fri 06-Feb-09 15:22 by abc" />
</rme:AdditionalInformation>
</rme:Chassis>
</ch:Device>
</ch:CallHome>
</aml-block:Content>
<aml-block:Attachments>
<aml-block:Attachment type="inline">
<aml-block:Name>show logging</aml-block:Name>
<aml-block:Data encoding="plain">
<![CDATA[
Syslog logging: enabled (0 messages dropped, 1 messages rate-limited, 0 flushes, 0
overruns, xml disabled, filtering disabled)

No Active Message Discriminator.

No Inactive Message Discriminator.

Console logging: level debugging, 97 messages logged, xml disabled,
filtering disabled
Monitor logging: level debugging, 0 messages logged, xml disabled,
filtering disabled
Buffer logging: level debugging, 97 messages logged, xml disabled,
filtering disabled
Exception Logging: size (8192 bytes)
Count and timestamp logging messages: disabled
Persistent logging: disabled

No active filter modules.

```

Trap logging: level informational, 120 message lines logged

Log Buffer (4096 bytes):

107 : Bad parameters)

```
*Feb 6 00:59:55.379: %CALL_HOME-3-HTTP_REQUEST_FAILED: failed to send HTTP request to :
  https://172.17.46.17/its/service/oddce/services/DCEService
  (ERR 107 : Bad parameters)
*Feb 6 01:04:37.903: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 01:04:51.783: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 1 has been
removed
*Feb 6 01:04:56.047: %CALL_HOME-3-SMTP_SEND_FAILED: Unable to send notification using all
SMTP servers (ERR 6, error in reply from SMTP server)
*Feb 6 01:05:01.823: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 1
(PWR-C45-1300ACV S/N: DTM123900VH Hw: 5.2) has been inserted
*Feb 6 01:05:01.823: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYBAD: Power supply 1 has failed or
been turned off
*Feb 6 01:05:01.823: %C4K_CHASSIS-3-MIXINPOWERDETECTED: Power supplies in the chassis are
of different types (AC/DC) or wattage
*Feb 6 01:05:51.827: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 1 has been
removed
*Feb 6 01:05:56.087: %CALL_HOME-3-SMTP_SEND_FAILED: Unable to send notification using all
SMTP servers (ERR 6, error in reply from SMTP server)
*Feb 6 01:05:56.867: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 1
(PWR-C45-1300ACV S/N: DTM123900VH Hw: 5.2) has been inserted
*Feb 6 01:05:56.867: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYBAD: Power supply 1 has failed or
been turned off
*Feb 6 01:05:56.867: %C4K_CHASSIS-3-MIXINPOWERDETECTED: Power supplies in the chassis are
of different types (AC/DC) or wattage
*Feb 6 01:06:31.871: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 2 has been
removed
*Feb 6 01:06:31.871: %C4K_CHASSIS-3-INSUFFICIENTPOWERSUPPLIESDETECTED: Insufficient power
supplies present for specified configuration
*Feb 6 01:06:31.871: %C4K_CHASSIS-2-INSUFFICIENTPOWERDETECTED: Insufficient power
available for the current chassis configuration
*Feb 6 01:06:36.907: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 2
(PWR-C45-1400AC S/N: AZS11260B3M Hw: 2.3) has been inserted
*Feb 6 01:08:06.911: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 1 has been
removed
*Feb 6 01:08:11.171: %CALL_HOME-3-SMTP_SEND_FAILED: Unable to send notification using all
SMTP servers (ERR 6, error in reply from SMTP server)
*Feb 6 01:08:11.951: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 1
(PWR-C45-1300ACV S/N: DTM123900VH Hw: 5.2) has been inserted
*Feb 6 01:08:11.951: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYBAD: Power supply 1 has failed or
been turned off
*Feb 6 01:08:11.951: %C4K_CHASSIS-3-MIXINPOWERDETECTED: Power supplies in the chassis are
of different types (AC/DC) or wattage
*Feb 6 01:10:35.371: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 01:12:06.955: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 1 has been
removed
*Feb 6 01:12:11.995: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 1
(PWR-C45-1300ACV S/N: DTM123900VH Hw: 5.2) has been inserted
*Feb 6 01:12:11.995: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYBAD: Power supply 1 has failed or
been turned off
*Feb 6 01:12:11.995: %C4K_CHASSIS-3-MIXINPOWERDETECTED: Power supplies in the chassis are
of different types (AC/DC) or wattage
*Feb 6 01:13:06.999: %C4K_IOSMODPORTMAN-4-POWERSUPPLYREMOVED: Power supply 2 has been
removed
*Feb 6 01:13:06.999: %C4K_CHASSIS-3-INSUFFICIENTPOWERSUPPLIESDETECTED: Insufficient power
supplies present for specified configuration
*Feb 6 01:13:06.999: %C4K_CHASSIS-2-INSUFFICIENTPOWERDETECTED: Insufficient power
available for the current chassis configuration
*Feb 6 01:13:12.035: %C4K_IOSMODPORTMAN-6-POWERSUPPLYINSERTEDDETAILED: Power supply 2
(PWR-C45-1400AC S/N: AZS11260B3M Hw: 2.3) has been inserted
```

```

*Feb 6 01:36:04.079: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 12:51:46.001: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 12:54:15.905: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
*Feb 6 12:57:54.121: %CLEAR-5-COUNTERS: Clear counter on all interfaces by console
*Feb 6 12:58:24.093: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
Switch#]]></aml-block:Data>
</aml-block:Attachment>
<aml-block:Attachment type="inline">
<aml-block:Name>show inventory</aml-block:Name>
<aml-block:Data encoding="plain">
<![CDATA[NAME: "Switch System", DESCR: "Cisco Systems, Inc. WS-C4510R 10 slot switch "
PID: WS-C4510R          , VID: V06  , SN: 1234567

NAME: "Clock Module", DESCR: "Clock Module"
PID: WS-X4K-CLOCK      , VID: V04  , SN: 12345671

NAME: "Mux Buffer 3 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345672

NAME: "Mux Buffer 4 ", DESCR: "Mux Buffers for Redundancy Logic"
PID: WS-X4590         , VID: V04  , SN: 12345673

NAME: "Linecard(slot 2)", DESCR: "Supervisor V-10GE with 2 10GE X2 ports, and 4 1000BaseX
SFP ports"
PID: WS-X4516-10GE    , VID: V07  , SN: 12345674

NAME: "Linecard(slot 3)", DESCR: "10/100/1000BaseT (RJ45)V with 48 10/100/1000 baseT voice
power ports (Cisco/IEEE)"
PID: WS-X4548-GB-RJ45V , VID: V08  , SN: 12345675

NAME: "Linecard(slot 4)", DESCR: "10/100/1000BaseT (RJ45)V with 48 10/100/1000 baseT voice
power ports (Cisco/IEEE)"
PID: WS-X4548-GB-RJ45V , VID: V08  , SN: 12345676

NAME: "Linecard(slot 5)", DESCR: "10/100BaseTX (RJ45) with 32 10/100 baseT and 4 100FX
daughtercard ports"
PID: WS-X4232-RJ-XX   , VID: V05  , SN: 12345677

NAME: "Fan", DESCR: "FanTray"
PID: WS-X4582         , VID: V03  , SN: 12345678

NAME: "Power Supply 1", DESCR: "Power Supply ( AC 1300W )"
PID: PWR-C45-1300ACV  , VID: V05  , SN: 12345679

NAME: "Power Supply 2", DESCR: "Power Supply ( AC 1400W )"
PID: PWR-C45-1400AC   , VID: V04  , SN: 1234567A

Switch#]]></aml-block:Data>
</aml-block:Attachment>
</aml-block:Attachments>
</aml-block:Block>
</soap-env:Body>
</soap-env:Envelope>

```